

授業科目(ナンバリング)	スポーツ実習D(スキー・スノーボード実習) (AB106)			担当教員	相羽 枝莉子		
展開方法	実技	単位数	1単位	開講年次・時期	1年・集中	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
<p>日頃の運動不足を解消し、個々の体力の維持、増進をはかり、さらには、身体を動かすことによるストレスの解消(リフレッシュ)の効果を理解し、今後継続する実践力身に付けることを目的とする。</p> <p>スポーツ実習Dでは、技能の向上をはかるとともに、メンバーシップやリーダーシップといった社会性を養う。更に、生涯にわたってスポーツの楽しさを享受する能力を高め、自己のライフステージや心身の状態に適したスポーツを生活に取り入れ、豊かなライフスタイルを形成できる能力を身につける。</p>							④⑩⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	授業に参加するだけでなく、他者と協力し積極的に取り組むことができる。 授業で行う活動のルールを理解し、必要な技術を習得することができる。				授業態度・授業への参加度 技術習得度・ルールの理解	60% 30%	
多様性理解力	集団生活を通して、豊かな人間関係、社会性を築くことができる。 自然への興味や関心を高めることができる。				授業態度・授業への参加度	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業態度・授業への参加度を通して積極性をみる(60%)と共に、授業で行う種目に必要な技術の習得度、ルールの理解度等(30%)を評価基準とする。また、自然への興味や関心を高められたか、集団生活を通して豊かな人間関係や社会性を築けたか等(10%)も評価基準とする。フィードバックについては、学生と個別に口頭でやりとりをする中で、理解度、達成度、課題を把握させる。</p>							
授業の概要							
<p>12月に所定の施設にて4泊5日でスノースポーツ(スキーもしくはスノーボード)を行う。</p> <p>種目(スキーもしくはスノーボード)については、学生が希望した種目について期間を通して行う。</p> <p>学生負担の諸経費の概算:おおよそ¥99,000(交通費、宿泊費、食費、保険料)</p> <p>履修希望者が多数の場合は、抽選となることもある。基本的に全担当教員の指導下で実施する。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書:特に指定しない</p> <p>参考書:日本職業スキー教師協会『SIAスキー&スノーボード公式メソッド』2012 全日本スキー連盟『日本スキー教程』2014</p> <p>指定図書:なし</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>授業に興味を持ち、積極的に質問や意見をしてほしい。授業で行った内容を一つでも習得し、今後の生活に役立ててほしい。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	ガイダンス (4月)(10月)	授業の内容・展開方法、評価の方法等に関する説明 実習に必要な装備の説明	予習：シラバスに目を通しておく。 スキー・スノーボード講習に必要な装備の確認を行う。
2	学外実習① (1日目午後)	開講式・オリエンテーション・用具確認	予習：スキー・スノーボード講習に必要な装備の確認を行う。
3	学外実習② (2日目午前)	雪上実習① 基本技術の習得	予習：午前の講習に備えて体調管理を行う。 復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。
4			
5	学外実習③ (2日目午後)	雪上実習② 基本技術の習得	予習：午後の講習に備えて体調管理を行う。 復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。
6			
7	学外実習④ (3日目午前)	雪上実習③ 安全な滑走技術の習得	予習：午後の講習に備えて体調管理を行う。また、コースマップをもとに、ゲレンデ全体について理解する。 復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。
8			
9	学外実習⑤ (3日目午後)	雪上実習④・フォーメーション滑走試走	予習：ゲレンデマップを確認し、翌日のツアーの準備をする。翌日の講習に備えて体調管理を行う。 復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。
10			
11	学外実習⑥ (4日目午前)	雪上実習⑤・スキーツアー	予習：午後の講習に備えて体調管理を行う。班別フォーメーション滑走の準備をする。 復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。
12			
13	学外実習⑦ (4日目午後)	雪上実習⑥・フォーメーション滑走	復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。
14	学外実習⑧ (5日目午前)	閉講式	復習：スノースポーツについての理解をまとめる。
15	事後指導	実習の振り返り	復習：実習を通して学んだ知識や修得した技能を確認する。